

シート番号	7101-10	名称	解散記念碑
分類	記念碑	場所	人見 堰下公園
小分類	公共事業碑	メッシュ番号	2018
年号	和暦：昭和49年4月 西暦：1974年		
形状	厚板型		
サイズ	本体：76×92×31 cm 台石高：33+25 cm 総高：134 cm		
画像番号	7101-10-01 (表)		
			
<p>堰下水利組合 解 散 記 念 碑 昭和四十九年四月</p>			
画像番号	7101-10-02 (裏 碑文)		
			
<p>碑文</p>			
コメント；碑文次ページ参照			

## 碑文

人見の農業は昔から天水を頼りて行われ来りしも、日照りの年は稲の植付は出来ず、米作りを断念せざるを得ず。ここに於て有志十六名は地区を流れる小糸川の水源利用に着目、明治二十七年堰下三六三番地先に水車を新設せり。土俵を使用しての堰止め等骨身を削る労苦だつたと云われる。永い間水に恵まれぬ耕地も次第に潤いを増し開発整備の促進と共に水路新設暗渠排水も逐次完成され、立派な水田を見るに至る。時に耕地面積二十八町歩農家戸数六六戸なり、十六人組の基礎造りは敬服を惜しまず特筆すべきところなり、明治四十二年水車老朽に依り再調水面より陸地まで十九尺全経十九尺全幅十五尺、一分間回転数五回、揚水機使用日数年間約九十日、新調総額壱千八拾円也以来七十年の間明治大正とその実績を積み重ね来りしも大正十二年関東大震災に依り水車は全面的の被害を受け使用不能となり当時役員は必死の運動を続けた結果遂に、国及び県の補助金を獲得翌十三年石油発動機の取付に成功する。このことにより堰下耕地整理組合として正式組合団体として発足する。昭和二十一年電力モーターに変わり、更に四十二年最新式モーターに切替え現在に至る。この間たまたま昭和三十六年人見浦海岸に新日鉄の進出が決り、海面埋立二百余万坪、新加入人口の年次増加と土地利用のため当耕地もその意義を悟り、昭和四十七年区画整理事業推進に踏み切り組合解散を決議せり。ここに功績ありし歴代組合長を列記して後世に伝えるものなり